

□□ _____ □□

1. ニュース…2019松本大会の5月10日開催
今からでも参加間に合います!

□□ _____ □□

2019日本自費出版ネットワーク松本全国大会が、5月10日（金）に
長野県松本市で開催されます。

今回も、『文学フリマ』主宰者の講演などがあり、自費出版事業者
なら見逃せないプログラムとなっています。
総会も本邦初めての自費出版物の即売会の事業計画などを決める大事
な審議があります。
未だ申し込み受け付けますので、お待ちしております。

申込は事務局または直接Tel. 0422-60-2211宮川までお願いします。

会場は旧第一勧銀のビルを再生した趣のあるアルモニービアンです。
<https://harmonie-wedding.jp/matsumoto/>

□□ _____ □□

2. お知らせ… 本邦初の自費出版の即売会の名称が
総会で発表される予定

□□ _____ □□

今年の日本自費出版フェスティバル（10/13）で、本格的な
自費出版の即売会を実施する予定です。
現在その名称を役員で選んでいます。10番までは当初の提案、
それ以外は追加で提案されたものです。
総会で発表予定です。お楽しみに!

1. 自費出版マルシェ
2. 自費出版バザール
3. 私の本即売会
4. 自費出版即売会
5. 自費出版市場
6. 私の本フェア
7. 自費出版マーケット
8. 自費出版フェア
9. 日本自費出版展示即売会
10. 私の本市場

【追加】
日本自費出版フェスティバル
自費出版展示即売会
自費出版マイブック即売会
自費出版フェスタ

□□ _____ □□

3. 自費出版事情 … ～会員便り～ No.17

□□

□□

株式会社日相印刷 荒井慶太

社会貢献型出版サービスを目指して

「相模原市史」「神奈川県史」等に記録されている相模原が生んだ「唯一」の草双紙農民戯作者「仙客亭柏琳」は、弊社創業者兄弟の5代前の先祖となります。貴重な地域文化人の作品であるにも関わらず、相模原市・神奈川県の図書館・博物館などの関連施設には柏琳の「作品（収蔵本）」が存在しておりませんでした。探索の結果、国立国会図書館、慶應義塾大学図書館、早稲田大学図書館、専修大学図書館、立命館大学図書館、九州大学図書館に収蔵されていることがわかり、創業者両名の宿願である先祖供養とともに、郷土相模原の文化的財産・歴史遺産を後世につなぐ一助になればと、柏琳の作品を元の姿のまま1冊の書物（翻刻全集）として2016年に発行し、市・県の図書館、博物館などに400冊寄贈させていただきました。

<https://mainichi.jp/articles/20161027/ddl/k14/040/102000c>

柏琳の作品と同じように、全国的にメジャーでない書籍は、継続的な研究がなされないため、時代と共に忘れ去られていく傾向があまりあります。メジャーでなくとも地域にとって「文化的財産・歴史遺産」となる書物を守るために、2013年より2年をかけて、POD出版サービスサイト「クニーガ.jp」（<https://www.kniga.jp/>）を自社開発し、「日相出版」（<https://www.publish-nisso.com/>）を2017年6月よりスタートさせました。

登録・管理費など一切不要で、在庫ゼロ、半永久的に紙の本で出版することができますので、メジャーでなくてもいつまでも紙の本が手に入る「社会貢献型出版サービス」という新しいビジネスモデルを目指して、日々活動しております。

□□

□□

☆ 知っとこ 松本 ☆ その12(最終回)

□□

□□

知っとこ松本 最終回 ～酒類とナイト・スポット②～

先月に続き松本のナイト・スポットについて語らせていただきます。

松本駅を中心に北東方向へ向かって半径500m以内に居酒屋・スナック・バー・小料理屋など、その数は約150件。ふらっと立ち寄ってみて満席ならばすぐ隣の店へ…そこもダメならそのまた隣の店へ、あるいは2階へ…という具合に、呑兵衛にとっては至福の街かも知れません。

イチ押しなのはバー。松本は「バーの街」としても有名ですが、バーテンダー同士でサービスやマナー全般についての勉強会をしたり、松本の歴史や文化について学んだり

と日々研鑽を重ねているとのことでした。

「城下町として栄えた歴史柄、にせものではない本物を愛する気性があり、またしっかりと落ち着いた佇まいが残るのも、首都圏とは異なる空気感が醸し出される理由なのだろう。また松本の人々には昔から華やぎや粋を愛で、賑わいを愛し、ハイカラなものを好んで取り入れる気性があったとも言う。」
というwebマガジンの記事もあります。

それぞれ10~20席のこぢんまりとした店ですが、その雰囲気も様々。もし時間があればバーの梯子を試してみたいと常々思うことがあります。

松本大会の3次会には「松本のバー」へ立ち寄ってみてください。

.....

1年間松本の紹介をさせていただきましたが、ついに最終回です。
セイジ・オザワ松本フェスティバル（旧サイトウ・キネン・オーケストラ）のこと、草間彌生のこと、男装の麗人・川島芳子のこと（古い？）など、まだまだ語りたことはありましたが、原稿を書かせていただく機会を頂戴したことを感謝申し上げます。
ありがとうございました（地層と歴史について書いているときが一番楽しかったです）。また、度重なる原稿の締め切り遅延で鳥原さまには多大なるご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。

それでは皆さま、松本全国大会でお会いしましょう！

（電算印刷 加藤洋子）

★あとがき

令和の新時代にふさわしく、私たち自費出版ネットワークでも新しい取り組みが始まる新年度がスタートしました。
日本自費出版フェスティバルでの即売会も楽しみですね。

また、今回の「会員だより」日相印刷の荒井さまのお話は、自費出版という文化の伝承として素晴らしい活動だと感動しました。

そして、いよいよ今週末は松本大会です。
1年間、全12回に渡り電算印刷の加藤さんに松本を紹介していただき盛り上げていただきました。ありがとうございました！
締め切りはギリギリでしたが、どんなガイドブックよりも素敵です。

それでは私からも……
皆さん、松本でお会いしましょう！
バーにも行きましょう！

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたら
yumi@maruwanet.co.jp まで、お願いいたします。

